



令和3年度学校だより

6月18日

# 五福校 ごふくこう

No43

文責 本田

## 手で作ること、経験することの大切さ・・・

今日は6年生が図工の授業で、「木と金属にチャレンジ」で材料の特徴を生かした作り方に挑戦していました。木を固定して切ることが難しいので、僕もちょっとお手伝いをしました。現代の生活において自分で何かを作ったり修理したりという機会が少ないので、ノコギリやペンチなどを使うことが少なくなりました。でも実際に道具を使ってものをつくることはとても大切なことです。今は簡単に動画を見ることができそうですが、実際にやってみるとそう簡単にはいかないものです。困難なことはあっても作り上げた時の喜びや達成感、豊かな創造性などを身につけて欲しいと思います。

同じように、先日5年生は家庭科でボタン付けをしていました。玉結びなどもなかなか難しい作業です。こんなことが少しずつでもできるようになることで、日々の生活が豊かになったり、古いものも大切にしようと思ったりするものです。持続可能な社会の実現のためにも自分の手で作り出したり、工夫して修理したりすることは大切なことです。



ノコギリで木を切断。  
難しいね。



木やダンボール、紙などいろいろな材料を使って・・・



ボタンつけ頑張ってできるようになっています。

## 実際に実験することの大切さ・・・

3年生はゴムの弾力を使ってどのくらい引っ張ったらどこまで車が走るかを実験していました。ゴムを引っ張る長さを変えると車が動く距離が変わることに気づいていました。ゴムを何センチ引っ張ったら何センチ車が動くか、ゴムを引っ張った長さと動いた距離の関係もわかってきますね。



## 五福小のお宝紹介



小松宮彰仁親王の扁額「済美（せいび）」  
明治30年（1987年）に彰仁親王が来校された際、揮毫（きごう）されたもの。  
校長室前の廊下にあります。